

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和元年7月31日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>equal collection お兄ちゃんは女装がお好き!?</p> <p>令和元年8月1日発行</p>	<p>絵柄はきれいで、卑わい感があるとはいえない。内容的にも基本的に合意の上での性交で、人格否定とはいえない。しかしながら、性器及び器具の消しが甘く、許容は困難である。指定やむなし。</p> <p>義兄弟とはいえ近親相姦を連想させる。結合シーンが特別多いとは感じられないが、性器の描写が、修整努力は窺えるものの形状がはっきりわかるシーンが多く、全体的に卑わい感を受ける。体液描写も過多である。指定該当</p> <p>アンソロジーコミックスで画力もあり、ストーリー展開も上手で読みやすい。性行為の頻度や見せ方など読者の需要を理解した構成である。しかし、性器の消し方が青年レベルでは甘く、登場回数も多い。指定やむなし。</p> <p>拘束する場面や器具の使用もあるが、卑わい感や人格否定的要素は感じられず、それをもって都の施行規則に該当するとは思えない。しかし、性器が等間隔の線で消しており、詳細な形状や血管が透けて見えている。指定該当</p> <p>全体的に明るい展開で、王道的な内容であり不快感はない。しかし、性器の修整が甘く、全編通して男性器だらけの印象は否めない。また、義弟とはいえ近親相姦を連想させる。スマホを使用しての性行為の強要もあり、18歳未満に見せることは、そのような行為を助長する恐れがあり慎重になるべきである。指定該当</p> <p>性器の形状が明瞭な上、凹凸まで描いているのがわかる。。挿入シーンを透明に描いている手法も露骨。また、脅して性行為を強要し、相手が入り、最後には進んで性行為に及ぶというパターンは、そういった性行為の持ち込み方を肯定するようで、青少年にみせるのはいかなものかと考える。指定該当</p> <p>性器の修整については、全体の形を見せる主線はないものの、形状がわかるように行われている。性器描写も少なくないため、成人向きと思われる。指定該当</p> <p>人物も二人だけの場面が多く、やわらかい話の出だしかと思ったが、だんだんと激しくなっていく。義兄弟ではあるが、近親相姦もので性交描写も多く卑わい感を感じる。性器の形が白抜きで形状がはっきりとわかり、精液描写もある。強制的な性交もあり、人格否定も見受けられる。指定該当</p> <p>全体にわたって性交場面が多く、扇情的で卑わい感が強い。性器の形状もぼかしが少ない。最初の「お兄ちゃん～」vol.1～3は、人の弱みにつけ込んで話が展開しており不快感を覚える。人格否定的と言わざるをえない。指定該当</p> <p>性器部分の処理はされているが、形状ははっきりとわかり卑わい。ストーリー性はともかく、絵づらの面でアウト。青少年の福祉を阻害するおそれのある行為を防止するという、条例の趣旨にてらしても指定やむなし。</p> <p>修整が甘いところがあり、性描写も多く、指定やむなし。</p> <p>性交描写の修整はまあまあできているが、性器の消しが甘く形状がわかる。指定やむなし。</p> <p>内容的にはコミカルな要素もあり、一部拘束などの場面があるものの、全編大部分にはあたらぬと思う。性器の修整は輪郭はわかるが斜線と一部に白抜きがされており一定の配慮がうかがえる。指定非該当</p> <p>マニアックな内容であり、性器の修整が甘く、性交シーンにおいて性器のアップが多いなど、一部の読者に対し性的感情を刺激する可能性があるものの、都条例が自主規制と定めるところの青少年の健全な成長を阻害するおそれがあるとははいえない。指定非該当</p> <p>性器の描写はぼかしているので問題はないと感じる。また、描写自体は過激とはいえない。性的行為について、激しく卑わいな行為だけを描いていない。指定非該当</p> <p>性器に修整は加えられているが、形状が分かる箇所が見受けられる。一部器具を使用した描写があり、結合部、擬音、体液描写もやや多い印象。しかし、暴力的・強制的と受け取れる箇所は見受けられず、全編を通して陰湿な描かれ方もしておらず、設定も非現実的である。人格否定にあたる箇所も見受けられない。指定非該当</p> <p>性器の修整は甘く、器具の使用や体液の描写もある。しかし、人格を否定するまでのシーンはなく、コミカルなタッチのため過激なイメージは受けない。総合的に判断して指定非該当</p>